

## 表情遊戲について

土川 五郎

エテル、ウルリン氏の「大古と近代の舞踊」の序論に次の如きことが記されて居る。

『吾人が文明の歴史を原始時代に遡りて攻究すると其結果舞踊は人間の最初の本能の外部的に體現せられたもので又同時に最初の藝術である事が證明せらるゝ、怡も赤兒が自己の感情を啼泣と身振とに依りて知らしむる如く歴史以前の人類は彼等を動かした種々の熱情を外的に發表しやうと力めて此等の表情の原始的様式を創めたのである、此の故に舞踊は其第一解剖に於て劇的の形式に依つて思想を發表せしむる身體上の動作から成り立つ、併し其最初の階段として猶他に一層重要な要素がある即ち節律的と云ふ事である。

あらゆる自然は節律を表現して居る即ち波浪、潮の干満も、光線音響の振動も又天體の調和的運

性別	讀力の全 能なる者	記述力の全 能なるもの	十音字以上の 讀力あるもの	十音字以上の 記述力ある者
男 兒	二人	一人	十人	十二人
女 兒	七人	一人	四人	十人
合 計	九人	二人	十四人	二十二人

但し、文字に對しての欲求皆無のもの男兒に一名、女兒に二名あり。

過般、伽噺の大家久留島武彦先生が我が三原町に御越しになりました節親しく御目にかかりましてこのかゝるたにつき御批評を仰ぎました處、先生も御賛成下さいまして、中に十句程改作する様御指導下さいました。そして先生がその改作に御筆を御取り下さる様御承知下さいました、田舎に居ります私には實にうれしくて早魑の夕立その様感ぜられました。

動皆然らざるなしである、而して人間が彼の身體の節律的運動に依つて其感情を表現しやうと試みるこの情緒の發表としての舞踊は音樂の發明を俟たなければ實現することが恐らく六ヶ敷いのである事實上最初の音樂は舞踊に伴はしむる爲めに作られ或は即興的に工夫されたものである事は吾人の最古の音樂の用語起原について明らかに其事實を説明して居る、即ち其起原は單なる音樂ではなく舞踊から發して漸次に獨特の音樂的意義を有する様になつたのであらう。

舞踊の起原につきて常に少くとも三つの主義の融合せるものである事が認めらるゝ。

一、古代の天文學に説いてある如き星宿の運動の模倣である儀式的又は宗教的舞踏。

二、人間の主なる熱情若は劇的若しくは歴史的表現。

三、動物の祖先の信仰の表現である動物の運動物眞似又は模倣。

古代及び近代に於ける舞踏間の種々雜多の變化は此の三つの原則の一つ又は他の二つが融和せられたものである。』

かういふ事をこゝに掲げたのは、これによつて次の事に注意を向けていたゞき度いからである。

一、表情遊戲を作り又は爲すのには感じが第一の大切なこと

二、歌詞に伴つて居る音樂(旋律と律動)に重きを置くべき事。

現今幼稚園で行はれて居る表情遊戲が兎もすると歌詞に捕はれて、其歌詞の通りに手でお舟を作つたり山をこしらへたりして、何でも一つも餘す所なく表はさうとして、感じといふ事に少しも顧慮されぬ傾向はあるまいか、と思はれる所がある。

**先づ第一が感じてある**、櫻が咲いたといふ歌詞に對しては、そこに櫻が實に見事に開いて何とも云へぬ美しさでしかも野も山も一面に見渡すかぎり櫻の世界、これを見ては到底黙つては居られぬ。

この向上したる感じを頭に浮べて、自分はこの櫻が咲いたといふ詞に對し如何に表情するか、之れが第一である。次に小兒が表情すれば如何んな形式を取るか、之れが第二である。次に其表現したる形式で踊つたならば其踊つて居るものは正しく快く其感じを受取るであらうか、(運動より來る感じ方)

**曲ある事を忘てはならぬ** 舞踊するに至つて節律の必要を感じ音樂がそれより出て來たとすれば表情の發表と曲との關係は一の重大なる要件である、随分曲をいじめたり、破壊したりして居る動作がある、大に考へねばならぬ、歌詞の感じをよく噛みくだいた曲で、而も其表情の形式が其感じをよく表はして居るならば一致すべきである、併しそう都合よい事のみはない併し尠くとも其感じを表はした形式即ち動作が出來たならば曲との關係旋律や律動との調和を考慮すべきである。

**表情の形式は二つの重要な事がある**

一、小兒の表情を基礎とすること 小兒の表現と大人のそれとは違ふ點がある、小兒化したる表情の形式を取らねばならぬ、又其方が眞實さが見えるし小兒にあてはめて見ると價值がある、大人の表情の形式を小兒に與ふる時は丁度借り着の洋服を着た様で小兒も迷惑だし又其感じが面白く起つて來ない。

二、小兒の表現した形式を舞踊化すること

一つの表現と次の表現との連接を滑らかに

一つ一つの表現が<sup>大きく</sup>且<sup>強弱</sup>があつてしなやかに、然も力あつて柔らかに、

三、歌のみを唱ふて十分の其感じが出る場合と表現を加へて一層其感じの強くなる場合と、表現に助けられて感じを起す場合と、此の三つによつて表現と其連接とに注意を拂はねばならぬ。

四、表現の形式が自然的である様に、不自然にならぬ様に。

五、表現の形式が舞踊するものに其感じを身體

的に感ずる様に、こゝに「面白」といふ詞を表はすに手拍子がよいか足拍子がよいか、足拍子にのみ偏しては良くないが足拍子の方が小兒の表現としては適切で又足拍子は中々よい感じを起すものである。

以上は表情遊戯を作る時又は小兒と一所に遊ぶ時に注意す可點とを思ひ付の儘記したのである。

## 文部省保育講習會講習要目

東京女子高等師範學校教授 倉 橋 惣 三

### 一、保育の手段としてのお話(十六時)

一、保育の手段としてのお話の本質及價值、二、お話の心理的内容 三、お話の選擇 四、お話のつくり方に就て 五、幼稚園におけるお話の仕方について

東京女子高等師範學校助教授 平 島 權 藏

### 一、幼兒に近き生物(十時)

一、生態及形態上の研究 二、飼育及培養 三、保育上生物に關する注意事項 四、幼稚園に於ける生物研究

東京女子高等師範學校講師 菅 原 教 造

### 一、色及色の配合(八時)

一、色と形 二、色の組合 三、色の變化  
四、色の配合 五、色の力 六、色の應用

## フレーベルの日に(二)

### ○戦を後にして

御津幼稚園 朝平とみえ

百花が咲き亂れまして小鳥は楽しさうに歌つて居りますこのうらかな春の日に、私共が常にお慕ひ申て居りますフレーベル先生の御祭典を舉げられました事はまことによるこばしい事で御座います殊に私のやうなものかしばらくの間この御祭壇を汚させて頂きますことはまことに身にあまります光榮と存じます次第で御座います。さて子供と云ふものは總てが目であると云ふ言葉が御座いますが之は只今此處にお祭り申してありますフレーベル先生の御言葉でございます、このお言葉につきまして深く考へ研究致しますと云ふことは教育者に取りまして誠に大切な事で御座います、保姆の一舉一動は直に子供の心にうつりまして何か